

島根原子力発電所2号機 A-残留熱除去系トーラススプレイ弁からの水漏れに係る立入調査について

立入調査日時	平成20年9月25日(木)14:10~16:30
立入調査者	島根県総務部消防防災課原子力安全対策室 調整監、室員1名 松江市総務部 原子力専門監 防災安全課原子力安全対策室 室員1名
立入調査対応者	中国電力株式会社島根原子力発電所 副所長ほか
根拠規定	島根原子力発電所周辺地域住民の安全確保等に関する協定第11条
調査概要	平成20年9月25日に中国電力(株)から報告があった標記の件について、中国電力(株)から経過の説明を受けた後、中央制御室で本事象に関連する機器・データを、また、水漏れが発生したA-残留熱除去系(以下、RHR)トーラススプレイ弁、漏れた水が溜まっていた場所を現場で確認した。
事象の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・9月25日10時20分頃、2号機原子炉建物地下2階圧力抑制室下部の床面に溜まり水があることを確認した。 ・定期検査において開放点検を行っていた「A-RHRトーラススプレイ弁(MV222-16A)」から漏れいしていることを確認した。なお、発見した時点では、漏れいは止まっていた。 ・「A-RHRトーラススプレイ弁(MV222-16A)」の上流にある「RHRトーラス水移送第2隔離弁(MV222-21)」を別の作業で開けていたため、RHRフラッシング用サンプポンプが自動起動した際にサンプ内の水が配管を通して、本来の流入先の廃棄物処理系ではなく「A-RHRトーラススプレイ弁(MV222-16A)」に流れ込み、開放していたバルブボンネットから溢れ出した。 ・漏れい量は推定で約660リットル、放射エネルギーは約8.1×10^5Bq。
確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・A-RHRトーラススプレイ弁(MV222-16A)の開放点検では、通常、RHRトーラス水移送第1又は第2隔離弁を閉じて行うが、今回は、中央制御室では管理票で閉となっていたが、現場では点検作業のため開いた状態になっていた。(中国電力(株)説明) ・水漏れが発生した時間は、RHRフラッシング用サンプポンプの運転記録から9月24日20時25分から20時30分と推定される。(記録紙確認、中国電力(株)説明) ・RHRフラッシング用サンプポンプが自動起動した原因として、B-RHRラインのドレン弁からのシートリーク水が流入し、水位が自動起動する位置まで上昇したことが考えられる。(中国電力(株)説明) ・圧力抑制室下部床面の溜まり水は、紙ウエスにより拭き取られ、ドラム缶に回収されていた。 ・スタックモニター、エリアモニターのデータは異常なし。(記録紙確認、中国電力(株)説明) ・この事象による作業員の被ばく、外部への放射能の影響はない。(中国電力(株)説明)
指示事項	今回、事象報告の第一報の内容が不十分であった。事象の概要が把握できるよう報告内容(様式)を充実させること。